

- 10月30日の米国株式市場は終日、売り優勢の展開。9月2日からの下落率をみると、ハイテク株下落の大きさが目立っており、好決算は9月までの株価上昇に織り込んでいたとみられる。
- 米ハイテク企業などは過去と比較すれば割高感が際立っているとはいえない。下落が加速するかについては市場心理が大きく左右する可能性も考えられ、今後のVIX指数の動向が大いに注目される。

ナスダック100指数は過去最高値から11%下落

10月30日の米国株式市場は終日、売り優勢の展開となり、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）は前日比0.6%、ハイテク株を中心とするナスダック総合指数は同2.4%下落しました。

ナスダック総合指数などが過去最高値を付けた9月2日からの下落率をみると、NYダウの8.9%に対し、ナスダック総合指数は9.5%、同指数の時価総額上位およそ100銘柄で構成されるナスダック100指数は11.0%と、ハイテク株下落の大きさが目立ちます。

29日の取引終了後に米大手ハイテク企業などが7-9月期決算を発表、各社とも総じて市場予想を上回る内容で、30日の取引でアルファベット（Googleの持株会社）は株価が上昇しましたが、ツイッターが20%を超える下落率を記録したほか、アップルやアマゾン・ドット・コム、フェイスブックといった超大手企業は軒並み5%を超える下落となりました。

こうしたことを考慮すれば、好決算は9月までの大幅な株価上昇に織り込んでいたとみられることも可能です。

今後のVIX指数の動向が大いに注目される

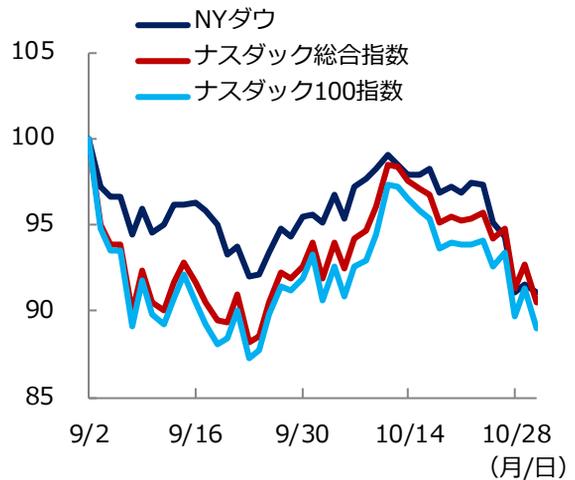
米国株の割高感が指摘されるなか、機関投資家などが参照するS&P500種指数のうち、情報技術セクターの予想株価収益率（PER）は25.7倍と、同指数全体の23.8倍を上回るものの、ハイテクバブル当時の40～60倍を大きく下回っています。また、コミュニケーション・サービスセクターは22.8倍と2001年より低い水準に位置しており、米ハイテク企業などは過去と比較すれば割高感が際立っているとはいえません。

こうしたことから、足もとの米ハイテク株下落は、新型コロナウイルス感染拡大がもたらす景気の先行きへの懸念や、米大統領選挙が混乱を引き起こすとの見方の影響を市場全体よりも強く受けていると考えられます。

S&P500種指数のオプションから算出された変動性（ボラティリティ）で、市場参加者の不安心理を映すとされるVIX指数は、10月28日におよそ4か月半ぶりの高水準を記録した後、もみ合いで推移しています。

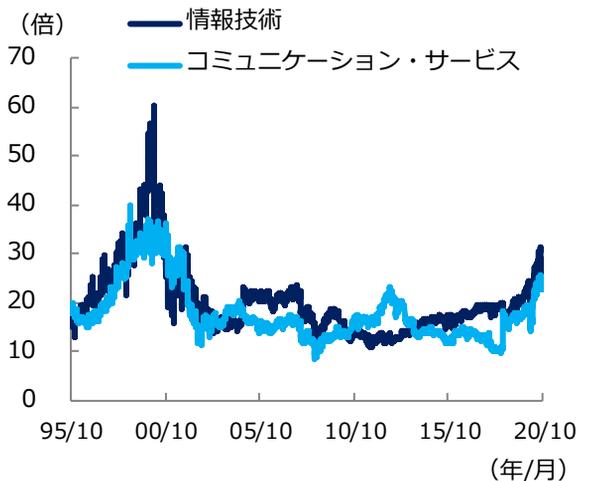
米ハイテク株下落が加速するかについては市場心理が大きく左右する可能性も考えられ、今後のVIX指数の動向が大いに注目されます。

米 株価指数の推移



※期間：2020年9月2日～2020年10月30日（日次）
2020年9月2日 = 100として指数化

セクター別 予想PERの推移



※期間：1995年10月30日～2020年10月30日（日次）
セクターはS&P500種指数のうち任意で抽出

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記個別銘柄の揭示は、取引の推奨を目的としたものではありません。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- ダウ・ジョーンズ工業株価平均およびS&P500種指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、ダウ・ジョーンズ工業株価平均およびS&P500種指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。
- ナスダック総合指数およびナスダック100指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はNasdaq Stock Market, Inc.に帰属します。
- VIX指数はシカゴ・オプション取引所が算出する指数です。